

## 令和五年度上期「電力利用効率化見学会」を開催しました

九州地方電力利用効率化協議会では、令和五年度上期見学会を7月24日(火)に熊本地区で開催し、15社27名に参加いただきました。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、見学会の実施を見送っておりましたが、約4年ぶりの開催となりました。

今回は、株式会社ブリヂストン熊本工場さま、及び、サントリー株式会社九州熊本工場さまを訪問しました。

### 【株式会社ブリヂストン熊本工場】(午前)

玉名市にある同工場は、当協議会の賛助会員です。企業及び工場の概要、生産品であるゴム製品の製造工程に関する説明を受けた後、二班に分かれて製造工程を視察し、省エネルギー等に関する質疑応答を行いました。

質疑応答の中では、高温になるゴム製造工程の作業者の環境改善のために空調機を増設しているが、無駄なエネルギーの削減に努め工場全体のエネルギー使用量の増加を抑えていること、省エネに繋がる設備の導入にあたり補助金を申請していること等、省エネルギーへの取組みをご紹介いただきました。加えて、カーボンニュートラルに向けた取組みについても、再エネ電力の導入を推進していること、温室効果ガスを排出しないボイラーの導入を検討していること、といったお話を伺うことが出来ました。



### 【サントリー株式会社九州熊本工場】(午後)

上益城郡嘉島町にある同工場では、阿蘇を水源とする豊富で高品質な湧水を使って、ビールをはじめとする様々な飲料を製造しています。

工場の概要、また、主要製品であるビールの製造工程・水資源保護の取組み等についての説明を受けた後、製造工程を視察しました。

サントリーさまでは全社を挙げて水資源の保護に取り組みされていますが、同工場でも「天然水の森 阿蘇」として南阿蘇外輪山の約420haで水源涵養機能を高める森林整備活動を実施しており、持続可能な生産活動への取組みを知ることが出来ました。



### 【見学会参加者のコメント】

参加者からは、「他社の省エネ、カーボンニュートラル、環境保全に対する取組みが興味深く参考になった」とのコメントをいただきました。

今後も、様々な業種や設備を対象に、見学会を実施していきたいと考えております。